

# 東京に平和祈念館（仮称）を



## あの戦争と私

羽田 澄子（記録映画作家）

このところ「今年は戦後七十年になる」という言葉が溢れている。思えば七十歳になる人でも日本のあの戦争を知らない時代になっているのである。

私は大正十五年生まれ。戦争の時代に育った世代だ。父が旧満州の南端の都市・大連の女学校の教師だったので、私は大連で生まれた。父の転勤で一時、日本内地でも暮らしたが再び満州に戻り、小学校五年生から、日露戦争で有名な旅順に暮らした。日本は満州事変から日中戦争、太平洋戦争と戦争が拡大していく時代だった。太平洋戦争が始まって間もない昭和十七年に旅順高等女学校を卒業。東京の自由学園の高等科に入学した。しかし、昭和十九年、三年生になったとき、学徒動員で中島飛行機武蔵製作所で働くこと

になった。有名な「ゼロ戦」のエンジンを作っていた工場である。私は旋盤工になった。全く知らない世界に入り、緊張したが、とても興味を、おつて働いた。勤務は深夜勤も含めた三交代制。職場には長野や米沢の女学校からの学徒も大勢来ていた。

戦況は厳しくなり、この年の十一月二十四日、武蔵製作所は突然アメリカ空軍のB29の空襲を受けた。東京大空襲の最初の爆弾が落とされたのが、この工場だった。丁度昼食をしようとした時で、空襲警報より早くB29が飛来。私たちは慌てて近くの防空壕に飛び込んだ。爆弾が落ちる音とともに地面が揺れ、壕の壁がざらつと崩れた。周りが静かになって壕から出てみたら、私たちの寮の玄関の前は爆弾が爆発した大きな穴が開いていた。

十二月三日に二回目の空襲があった。この時、私は深夜勤で学校の寮にいた。しかし事務の仕事をしていた川田文子さんは避難した工場の防空壕で被爆。生き埋めになって亡くなった。夜勤スタッフの私たちは工場に入る前に、お棺に入れた川田さんにお会いした。美しかった川田さんは、そのまま美しかった。しかし、耳から血が流れ出していた。この時から、私も何時死ぬかわからないと思っただ。そして、親しい人と会うと、「会うのはこれが最後か」と思った。何回もの空襲で工場は大きく破壊され、

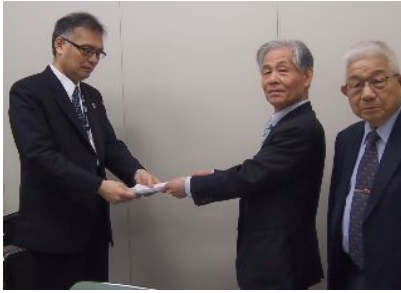
私たちは空襲のたびに遠くの畑まで走って逃げた。しかし幸いにも昭和二十年三月に自由学園を卒業、工場の動員は終わった。私は大連の自宅に戻った。この旅行も大変だったが、大連で終戦を迎えた。重大放送を聞いて、私は戦争を止めることができるのに驚いた。そして、想像もしなかった「まだ生きていられる」という嬉しい気持ちになった。

戦後、それまで知らされなかったさまざまな情報から戦争の本質を知り、私の生き方は変わった。平和憲法の成立は本当に嬉しいことだった。この思いがその後の人生のベースになり、この思いに支えられた記録映画を作ることになった。

■はねだ・すみこ（一九二六年・旧満州大連生まれ。旅順高等女学校卒。満州から引き揚げ後、自由学園女子部高等科卒。岩波映画入社。羽仁進監督の下、助監督を経て監督。  
主な作品Ⅱ『薄墨桜』（一九七七年、『平塚らいてうの生涯』元始、女性は大陽であった）  
（二〇〇一年）、『嗚呼 満蒙開拓団』（二〇〇八年）など。  
著書『映画と私』（晶文社）、『終わりのよければすべてよし』（岩波書店）など多数

発行 「東京都平和祈念館（仮称）」建設をすすめる会  
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1エデュカス東京  
東京総合教育センター 気付 FAX03-5927-1487

## 「東京都平和祈念館(仮称)」の建設を早期に！ 95人の著名人要請署名を東京都に提出



【写真上】鳥田浩平都文化振興部長に95氏の要請署名を手渡す金子勝と高岡岑郷の両氏

「東京都平和祈念館(仮称)」建設をすすめる会は、東京大空襲・戦後70年を前にして、昨年11月以降、著名人によびかけて「東京都平和祈念館(仮称)」の建設を早期に求める舛添要一都知事宛の要請書署名を集めてきました。

この要請文には「沖縄、広島、長崎はもとより、大阪などでも公的な平和博物館がすでに存在しています。

来年は、東京大空襲から70年目です。空襲被害体験者のほとんどの方々も80歳を超えておられます。1日も早く建設されるよう望んでおられます。

また、2020年オリンピック&パラリンピックが東京で開催を予定しています。

東京から平和を発信する施設が存在してこそ、この世界的なスポーツ祭典が豊かに実りあるものとなるのではないのでしょうか」などとたたえられています。

この要請書(一覧は3頁)には、名誉都民の山田洋次(映画監督)さんをはじめ、池辺晋一郎(作曲家)、宇都宮健児(元日本弁護士会会長)、大澤豊(映画監督)、早乙女勝元(作家)、羽田澄子(記録映画作家)、本間慎(フェリス女学院大学元

学長)、松元ヒロ(コメディアン)、山崎朋子(ノンフィクション作家)など95氏が署名してきています。

### 東京大空襲体験者が生きて いるうちに建設を！

「東京都平和祈念館(仮称)」建設をすすめる会の代表世話人であり、95名の著名人要請者の一人である金子勝(立正大学名誉教授)

さんをはじめ会の代表5名は、1月23日夕刻、都庁生活文化局を訪ね、鳥田浩平文化振興

部長に会い、舛添要一都知事宛の95氏の要請署名(要請文の内容は3頁)を手渡しました。

鳥田部長は「都としては(展示内容等については都議会の合意を得たうえで実現する)との都議会付帯決議を重くみている」との従来の立場を発言。

これにたいして会の代表からは「東京大空襲70年の最後ともいえる節目の年に、都がそれにふさわしい姿勢を示してほしい」「都議会各会派も参加して合意した1996年の基本構想懇談会の内容に立ち戻って建設して欲しい」などと強調しました。

署名提出後、金子勝氏など会の代表は、都庁内で記者会見をおこないました。

記者会見で高岡氏は「(1993年の)平和記念館基本構想懇談会の報告は、超党派でまと

められたものです。その原点に立ち返って、東京大空襲の体験者が生きているうちに何としても実現させたい」と述べました。

また金子氏は「東京都が世界中に平和を発信する国際都市としての役割を果たしていけるよう、一刻も早く東京都平和祈念館を建設できるよう皆様のご協力をいただきたい」とかたりました。

なお、記者会見については、



【写真上】都庁記者会見場

「しんぶん赤旗」(1月24日付)、「東京新聞」(1月25日付)、「朝日新聞」(1月27日付・東京版)で報道されました。

(柴田桂馬 記)



## 「東京都平和祈念館(仮称)」早期建設を求めた 95氏

金子 勝(立正大学名誉教授)、小森香子(詩人会議常任運営委員)、中山武敏(弁護士)、本尾 良(女性9条の会よびかけ人)、赤松宏一(原水爆禁止日本協議会代表理事)、明日香瞳子(日本舞踊明日香流宗家)、荒川庸生(東京宗教者平和の会代表世話人・真宗大谷派長永寺住職)、新 千明(新日本婦人の会東京都本部会長)、安齋育郎(安齋科学・平和事務所)、池辺晋一郎(作曲家)、石川逸子(詩人)、石子 順(日中友好協会東京都連会長)、石山久男(歴史教育者協議会前委員長)、磯山福正(寺院住職)、井出孫六(著述業)、井出信子(著述業)、稲沢潤子(作家)、稲葉喜久子(作家)、井上麻矢(㈱こまつ座代表取締役)、今宮謙二(中央大学名誉教授)、氏家祥夫(東京都庁職員労働組合顧問)、牛田守彦(武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会・副代表)、牛山鈴子(東京空襲犠牲者遺族会事務局長)、碓田のぼる(歌人)、宇都宮健児(弁護士・元日弁連会長)、浦野広明(立正大学法学部客員教授)、江尻美穂子(津田

塾大学名誉教授)、大石芳野(写真家・フォトジャーナリスト)、大澤 豊(映画監督)、大原穂子(方言指導)、岡田太郎、小川政亮(日本社会事業大学名誉教授)、沖村民雄(東京平和・国際教育研究会事務局長)、奥田靖二(浅川金刀比羅神社宮司)、小沢勝美(法政大学名誉教授)、小澤隆一(憲法研究者)、葛西和雄(俳優)、金田茉莉(戦争孤児の会代表)、神山 寛(新劇俳優)、菊池弘昭(真宗大谷派仏頂山光円寺住職)、岸田正博(隅田山多聞寺山主)、杵淵智子、木村康子(東京母親大会副委員長)、黒坂黒太郎(音楽家)、斎藤雅一(㈱金の星社会長)、早乙女勝元(作家)、櫻井幸子(婦人民主クラブ会長)、佐貫 浩(法政大学キャリアデザイン学部教授)、重富健一(東洋大学名誉教授)、島田修一(弁護士)、清水 雅彦(日本体育大学教授・憲法学)、下重暁子(作家)、鈴木賢士(フォトジャーナリスト)、鈴木瑞穂(俳優)、隅野隆徳(専修大学名誉教授)、武田隆雄(日本山妙法寺僧侶)、立川談之助(落語家)、田村拓男(目黒「九条の会」ネットワーク世話人代表)、丹野 章(写真家)、鶴見祐策(弁護士)、戸崎賢二(元NHKディレクター)、都丸哲也(元保

谷市長)、富山和子(立正大学名誉教授)、中島邦雄(東京大空襲戦災孤児)、仲築間卓蔵(日本ジャーナリスト会議放送部代表)、中村梧郎(前・岐阜大学教授)、中村昭三(九条山懇根寺)、中村 博(日本子どもを守る会顧問)、中村美智子(元新日本婦人の会会長)、朴 慶南(作家)、橋本博(元昭和薬科大学教員)、畑田重夫(日本平和委員会代表理事)、八田尚徳(劇団新人会演出・制作)、羽田澄子(記録映画作家)、端山千鶴子(主婦)、端山好和(東京農業大学名誉教授)、平山玲是(東京税理士会顧問)、星野弘(東京空襲犠牲者遺族会会長)、堀 甲子(原爆の凶を見る会・文京会長)、堀尾輝久(東京大学名誉教授)、本間 慎(フェリス女学院大学元学長)、増田善信(気象学者)、松平 晃(トランペット奏者)、松元ヒロ(コメディアン)、三栖義隆(東京非核政府の会事務局長)、三井勝雄(日本ユーラシア協会役員)、峰岸純夫(東京都立大学名誉教授)、山崎朋子(ノンフィクション作家・女性史)、山田 朗(明治大学教授)、山田洋次(映画監督)、山本英典(長崎の原爆被害者)、吉田博徳(日朝協会東京都連合会会長)、吉原公一郎(作家)、渡辺一枝(作家)、渡辺皓司(画家)

### 【95氏が署名した要請書】

東京都知事 舛添要一 殿  
「東京都平和祈念館(仮称)」の建設を早期に実現してください

東京都知事として就任されて以来、1千百万都民の命と暮らしを預かるお仕事に心から敬意を表し、また期待しています。とりわけ、アジアの友好都市との交流回復による東アジアの平和へ向けてのご尽力や2020オリンピック開催に当たって自然環境を維持するための会場見直しなど、積極的なとりくみに注目しています。ついては、東京都としていったんは建設が決まっていたにもかかわらず実現をみていない「東京都平和祈念館(仮称)」の建設を早期に実現してくださいよう要望いたします。

東京は、あのアジア太平洋戦争で戦争推進の政治的・軍事的拠点となってきたと同時に、100回以上にわたる空襲を受け、10万人をこえる人々の命が奪われるな

ど、悲惨な戦場となりました。こうしたことから、東京都民は、再びあのような惨禍を繰り返さないことを決意し、平和といのちの大切さを次代に伝えるための「東京都平和祈念館(仮称)」の建設を求めてきました。いったんは建設することが決まったと聞いています。沖縄、広島、長崎はもとより、大阪などでも公的な平和博物館がすでに存在しています。

来年は、東京大空襲から70年目です。空襲被害体験者のほとんどの方々も80歳を超えておられます。1日も早く建設されるよう望んでおられます。また、2020年オリンピック&パラリンピックが東京で開催を予定しています。東京から平和を発信する施設が存在してこそ、この世界的なスポーツ祭典が豊かに実りあるものとなるのではないでしょう。

私は、貴職にたいし、「東京都平和祈念館(仮称)」の一日も早い建設を心から要望します。

2015年 1月23日



東京大空襲70年の今年こそ  
**「平和祈念館（仮称）」建設へ**  
 — 14周年のつどい開催 —



【写真】合唱団・この灯

「東京都平和祈念館（仮称）」建設をすすめる会は、昨年12月4日（木）夜、豊島区民センターで14周年のつどいを開催しました。

この“つどい”では、第1部で“合唱団この灯”の合唱で幕を開け、歴史教育者協議会委員長で明治大学教授（日本現代史）の山田朗氏による「戦後70年を私たちはどう迎えるか」と題しての記念講演が行われました。

第2部は第15回総会として開催しました。

**戦争は70年前に終わったが、後始末は終わっていない**

山田朗先生は、記念講演で概ねつぎのような話をされました。

「戦後明治大学が購入して、現在、明治大学平和教育登戸研究所資料館となっている場所は、戦前陸軍の登戸研究所があったところです。ここで造っていた代表的なものの一つは風船爆弾です。いまから70年前、1944年11月から日本の軍部は、アメリカの本土に対して風船爆弾の攻撃をはじめました。

風船爆弾を飛ばしたのは11月25日でしたが、その前日に

は、東京への最初の空襲が行われました。

片やアメリカは国力と科学力の粋をつくしてのB29爆撃機、一方日本の職人的な技術と精神力の塊である風船爆弾を使って

の攻撃。こうした状況は、当時の日本とアメリカの状況を象徴しているのではないのでしょうか」と前置きしながら、山田先生は次のように話をつづけました。

「いま改憲と教育の国家主義的再編“教育再生”の動きが強まっています。そのなかで政界では、宮澤談話、河野談話、村山談話を排斥する歴史修正主義が強められています。その一つとして河野談話について安倍首相は、『平成3年12月から平成5年8月まで関係資料の調査及び関係者からの聞き取りを行い、これらを全体として判断した結果、（談話）のとおり』としながら、『同日の調査結果の発表までに政府が発見した資料の中には、軍や官憲によるいわゆる強制連行を直接示するような記述も見当たらなかった』とする衆議院議員辻元清美議員の質問書に対する答弁書の例にみられるように、一見談話を肯定するように見せかけながら、排斥していくというような手法をとっています」などと鋭くメスを入れたお話をすすめていかれました。

そしてこのように、戦争は70年前に終わったが戦争の後始末は終わっていない、このこと



【写真】講演する山田朗氏

がアジア諸国との関係を不正常的なものにしている、アジア諸国との間に歴史認識の共通の土台をつくること、侵略・植民地支配の実相を次世代に継承していくことの大切さ、自分が住んでいる、学んでいる、関心をもっている地域、そこにかつて戦争があったことを知り、平和創造の輪をひろげていくことの重要性を訴えました。

とくに、加害の歴史というのは、家の中でも語られないことが多く、放っておけば記憶から消えていくわけで、モノとして残し伝えていくことが大事、また「自虐」と「反省」はまったく異なるもので自分が歴史の中で生きているという意識が大事であるなども話されました。

◇ ◇ ◇

第2部の第15回総会では、小竹ひろ子日本共産党都議会議員から激励の挨拶を受けた後、活動方針・会計報告（報告・提案＝高岡岑郷東京革新懇代表世話人）、役員推薦（片桐公男東京憲法会議事務局長）、総会アピール提案（平山百子さん・日中友好協会）が行われ、全会一致採択、石山久男世話人が閉会挨拶して散会しました。

なお、参加者は57名でした。

（柴田桂馬 記）

〔総会アピール〕

## 戦後70年を迎えるにあたり、「戦争する国」づくりを許さず「東京都平和祈念館（仮称）」建設を都民の力で大きく前進させましょう

安倍自公政権は、国民多数の世論に挑戦し、集団的自衛権行使容認の閣議決定を行い、原発再稼働と輸出、武器輸出・共同開発の拡大など、「戦争する国」づくりへ引き続く暴走を企てています。しかし沖縄の戦後史上はじめての保守・革新の枠を超えた「オール沖縄」の力によって翁長県知事を誕生させ、辺野古新基地建設中止への展望を開くことができました。集団的自衛権行使反対、秘密保護法施行阻止の運動もますます大きくひろがっています。そうしたなかで、日米ガイドライン改定も集団的自衛権行使の法制化も来年に先送りせざるをえなくなり、日中首脳会談によって日中間の紛争の平和解決を約束するところまで追い込みました。

戦後70年を迎える来年は、安倍政権の暴走を許し「戦争する国」づくりへさらにすすむか、それとも安倍内閣を退陣に追い込み、日本国憲法を生かす平和の日本とアジアへ大きく転換する年にするかが、切実な課題として問われています。「戦争する国」へ国民を動員するための教育「改革」も、戦争賛美の教科書採択、「道徳」の教科化、教育委員会制度改悪、学制改革など様々な面で山場を迎えます。戦後70年にあたり、あらためて日本が行った侵略戦争と植民地支配、そのなかで日本国民がこうむった悲惨な経験を思いおこし、「戦争する国」への流れに抗して平和な日本とアジアをつくる決意を固めなければなり

ません。

とくに東京都では、アジア太平洋戦争で1945年3月10日の東京大空襲をはじめ100回を超える空襲を受け、約12万人の命が奪われ、約85万戸の家が焼かれ、焼け出された人たちは300万人におよびました。この戦争全体では日本国民310万人を含む2000万人を超えるアジアの人々が命を奪われています。このような戦争の惨禍とその原因を、世代を超えて語り継ぎ、戦争を二度と繰り返さないために、いまこそ「東京都平和祈念館（仮称）」の建設を、都民の力を結集して一日も早く実現しようではありませんか。

「東京都平和祈念館（仮称）」建設の具体的計画は、都議会各会派代表も参加した「東京都平和祈念館（仮称）」建設委員会が、すでに1998年に東京都に答申しています。ところが都議会内の戦争美化勢力が石原元知事らと結託して建設を妨害し、今日まで引き延ばされてきました。戦後70年、東京大空襲70年を迎えるいまこそ、都議会・都知事が協力して建設計画を再起動させ、高齢となった空襲被害者やその遺族、およびすべての都民の願いに応えるべきときです。

そのため、東京の各地域からの草の根の運動をひろげ、「東京都平和祈念館（仮称）」建設を実現させる大きな流れをつくりだしましょう。

具体的には、当面、次のよう

な運動にとりくみましょう。多くの都民ならびに全国の皆さんのご協力を呼びかけます。

1. 都知事および都議会に対して、東京都平和祈念館（仮称）建設を一日も早く実現するよう求める署名を大きくひろげましょう。

2. 東京都平和祈念館（仮称）建設のために都が都民などから収集した資料を、当面、民間の「平和のための戦争展」などへも貸し出して活用できるようにさせましょう。

3. 戦争や空襲を語り継ぐ運動を発展させるため、戦争・空襲体験の証言活動や、戦跡保存と見学の活動などへの支援と周知に、都および市区町村当局としても取り組むよう要請しましょう。

4. 「東京都平和の日」記念行事の予算の増額と、内容の拡充を要請しましょう。とりわけ空襲体験者の訴えの時間の拡充、資料展での空襲体験者のビデオ上映コーナーの拡充、1995年に発表した「都民平和アピール」の普及を求めましょう。

5. 「東京都平和の日」、8月15日などいろいろな機会をとらえて、都・市区町村の平和に関する行事・展示会などを行うよう要請しましょう。

6. 各地の空襲被害者の訴訟を支援する運動に連帯するとともに、空襲被害者への補償と救済のための立法化運動、原爆被爆者に対する補償の拡充、確立を求める運動に連帯し協力しましょう。

2014年12月4日

「東京都平和祈念館（仮称）」建設をすすめる会14周年のつどい(第15回総会)参加者一同

## 東京大空襲70年・戦後70年にあって 都に「平和の日」予算と内容の拡充等要望



「東京都平和祈念館（仮称）」建設をすすめる会の代表は、昨年12月22日（月）午後、東京都庁を訪ね、佐藤義昭都政策企画局知事秘書担当課長と門馬尚高生活文化局文化振興部企画調整課管理係長に会い、都知事宛と東京都生活文化局長宛の要望書を手渡しました。

課長は、「要望のことは都知事に伝えるが『東京都平和祈念館（仮称）』の問題の所管は生活文化局であるので、著名士の要望書については、生活文化局の方に提出してほしい」とこたえました。

この要請には、高岡岑郷東京革新懇代表世話人、片桐公男東京憲法会議事務局長、柴田桂馬東京原水協代表理事の3名が参加しました。

なお、このあと会の代表は、生活文化局文化振興部を訪れ、門馬尚高管理課長に会い、局長宛の要望書を提出しました。

要望書の内容は、下記のとおりです。

◇ ◇ ◇  
東京都知事 舛添要一 殿

「東京都平和祈念館（仮称）」の建設を早期に実現してください

東京都知事として就任されて

以来、1千百万都民の命とくらしを預かるお仕事に心から敬意と期待をしています。とりわけ、アジアの友好都市との交流回復による東アジアの平和へ向けてのご尽力や2020オリンピック開催に当たって自然環境を維持するための会場見直しなど、積極的なとりくみに注目しています。ついては、東京都としていったんは建設が決まっていたにもかかわらず実現をみていない「東京都平和祈念館（仮称）」の建設を早期に実現してくださいよう要望いたします。

東京は、あのアジア太平洋戦争で戦争推進の政治的・軍事的拠点となってきたと同時に、100回以上にわたる空襲を受け、10万人をこえる人々の命が奪われるなど、悲惨な戦場となりました。こうしたことから、東京都民は、再びあのような惨禍を繰り返さないことを決意し、平和といのちの大切さを次代に伝えるための「東京都平和祈念館（仮称）」の建設を求めてきました。いったんは建設することが決まったと聞いています。沖縄、広島、長崎はもとより、大阪などでも公的な平和博物館がすでに存在しています。来年は、東京大空襲から70年目です。空襲被害体験者のほとんどの方々も80歳を超えられています。1日も早く建設されるよう望んでおられます。また、2020年オリンピック&パラリンピックが東京で開催を予定しています。

東京から平和を発信する施設

が存在してこそ、この世界的なスポーツ祭典が豊かに実りあるものとなるのではないのでしょうか。

私たちは、貴職にたいし、「東京都平和祈念館（仮称）」の一日も早い建設を心から要望します。

同時に直ちに下記のことを実施するよう要望します。

- ①「東京都平和の日」記念行事の予算を増額し、内容を拡充すること。とりわけ空襲体験者の訴えの時間の拡充、資料展での空襲体験者のビデオ上映コーナーの拡充、1995年の記念行事で発表した「都民平和アピール」の普及をはかること。
- ②「東京都平和祈念館（仮称）」を建設するとして収集した資料の公開、民間への貸出を実現すること。
- ③東京都が蒐集・保管している戦時資料を「東京都平和の日」条例と「都民平和アピール」の立場に立って3月と8月に都庁展望室で東京空襲・平和展を開催すること。

2014年12月22日

「東京都平和記念館（仮称）」  
建設をすすめる会  
代表世話人 金子 勝  
(立正大学教授)  
小森 香子 (詩人)  
中山 武敏  
(弁護士)  
本尾 良  
(非核・平和活動家)

## 東京大空襲70年・戦後70年 都内各地の平和のつどい

ふたたび この国を 火  
の海にさせないために！  
戦後70年・戦争被害  
のすべて解決を！  
大集会

主 催：集会名称の実行委員会  
と き：3月6日（金）

午後6時30分開会

と ころ：浅草公会堂大ホール

◇記念講演：

戦後70年の歴史認識を問う  
—新たな戦争を許さぬために—

高橋哲哉さん

（東京大学大学院教授）

◇邦楽演奏：ざ・五人囃子

◇合唱：合唱団この灯

◇被爆・被害者の声、声、声

東京、大阪、広島、長崎、沖  
縄、福島

【連絡先】

全国空襲被害者連絡協議会

〒131-0045 東京都墨田区押上

1-33-4-102

電話・Fax 03-5631-3922

### 被災70年 東京大空襲資料展

主催：東京大空襲犠牲者追悼・  
記念資料展実行委員会

共催：台東区

後援：台東区教育委員会

と き：3月7日（土）

～10日（火）

午前10時～午後5時

と ころ：浅草公会堂ギャラリー

台東区浅草1-38-6

（入場無料）

【被災70年特別企画展示】

◇狩野光男画伯原画展

—東京大空襲を描く—

【被災70年特別イベント】

◇浅草deトークvol.4

〈名前〉と出会いなおす—沖縄  
と東京の対話

と き：3月7日（土）午後1時  
～3時30分

と ころ：浅草公会堂

第3集会室（5階）

企画：和・ピースリング

○講演 北村毅さん（早稲田大  
学琉球・沖縄研究所客員准教  
授）

「名前は何を語るのか—沖  
縄・平和の礎から見えてき  
たこと」

○発言 大竹正春さん

（東京空襲犠牲者遺族会）

「名前をどう伝えるのか—  
東京空襲犠牲者遺族の願い」

○その他 ワークショップ

◇平和寄席

と き：3月8日（日）

午後1時30分～3時30分

と ころ：浅草公会堂第3集会室

落語 寝床家道楽さん

落語 嬉野亭慶多さん

ギター漫談 ペロ中島さん

◇浪曲で戦争を口演 出演協力・  
日本浪曲協会

と き：3月9日（月）

午後1時30分～3時30分

と ころ：浅草公会堂第3集会室

口演 「同期の桜」

富士路子さん

口演 「真っ黒なお弁当」

木村勝千代さん

口演 「一太郎の浅草案内」

東家一太郎さん

2014年12月4日

「東京都平和祈念館（仮称）」  
建設をすすめる会

2015年度役員

【代表世話人】

（敬称略、順不同）

金子 勝（立正大学教授）

小森 香子（詩人）

本尾 良（非核・平和活動家）

中山 武敏（弁護士・元東京大  
空襲訴訟弁護団長）

【世話役団体】

（敬称略、順不同）

（○印は小委員）

○東京都教職員組合（大山圭

湖）

○歴史教育者協議会

（石山久男、丸浜 昭）

東京都歴史教育者協議会

（大坪庄吾、扇谷道子）

東京地方労働組合評議会

（中野謙司）

東京自治労連

○原水爆禁止東京協議会

（柴田桂馬）

東京平和委員会（長谷川邦夫）

○平和・民主・革新の日本を

めざす東京の会（高岡岑郷）

日中友好協会東京都連合会

（平山百子、細川達雄）

日朝協会東京都連合会

（赤石英夫）

新日本婦人の会東京都本部

（ ）

東京憲法会議（片桐公男）

平和を願い戦争に反対する東

京戦没者遺族会

（田中正男・島田初代）

（注）上記の団体選出の世話  
人が任期途中で辞任する場  
合は、その団体が推薦する人  
を世話人として確認する。



◇浅草戦跡めぐり

とき：3月7日～9日の毎日  
約1時間 出発は資料展会場、  
希望者が集まり次第ガイドが  
案内

◇追悼集会

とき：3月10日(火)  
午後1時～  
ところ：  
東京大空襲犠牲者追悼碑前  
(隅田公園言問橋際・台東区  
側)

【連絡先】

東京大空襲犠牲者追悼・  
記念資料展実行委員会  
台東区浅草5-42-11  
浅草商工会館内  
電話03-3876-4858

東京大空襲を語り継ぐ集い  
東京大空襲・戦災資料センター  
開館13周年

主催 名称の実行委員会  
日時：3月8日(日)  
開会：13時30分  
会場：江東区文化センター  
ホール

定員：500名  
参加協力費：500円  
(高校生以下無料)

【内容】

◇お話と詩の朗読

岩崎加根子さん  
(俳優/俳優座代表)

「平和を求めて…朗読で綴る  
東京大空襲により心をこわされ  
た子たち」  
(浅見洋子詩集『一人ぼっちの  
人生』より)  
\*体験を語る「教え子全員を失っ  
た3月10日」田近治代さん  
\*合唱「生命を生きる」他 合  
唱団「この灯」  
\*センターで学ぶ子どもたち

【連絡先】

東京大空襲・戦災資料センター  
〒136-0073  
東京都江東区北砂1-5-4  
電話03-5867-5631  
Fax03-5683-3326

時忘れじの集い

主催 時忘れじの集い  
海老名香葉子

とき 3月9日(月)  
◇(第一会場)  
慰霊碑「悲しみの東京大空襲」  
午前10時～  
(上野駅・上野公園口/右へ4分)  
(鶯谷駅南口/右へ2分)

◇(第二会場)  
平和の母子像「時忘れじの塔」  
午前11時30分～  
(上野駅・上野公園口/3分)

【連絡先】

東京都台東区根岸2-10-12  
時忘れじのつどい海老名香葉子

平和プラザ2015平和を  
ねがう中央区民の戦争展  
(プレ集会)

主催：平和プラザ実行委員会  
とき：3月17日(火)  
午後6時30分～  
ところ：月島社会教育会館  
4階ホール  
交通：地下鉄有楽町線大江戸線  
「月島駅」下車徒歩約5分  
都バス 月島3丁目下車  
徒歩約1分  
江戸バス 月島区民センター  
下車徒歩約1分

第1部 落語

三遊亭神楽さん

第2部 講演

宇都宮健児さん

【連絡先】

電話：090-4077-2282-(福田)  
主催：4・13根津山小さな追  
悼会実行委員会

第19回4・13根津山小さな  
追悼会

とき：4月13日(月)  
午後2時～3時  
場所：豊島区南池袋公園内  
「空襲犠牲者哀悼の碑」前

【連絡先】

4・13根津山小さな追悼会実  
行委員会  
〒171-0022





東京都豊島区南池袋3-18-35

小田光野方

電話03-3971-4771



## 第25回 立川空襲を語り歌い つぐつどい

主催：コーラス鳩のうた

立川市生涯学習推進センター

会場：立川市柴崎学習館

地下ホール

◇とき：4月4日（土）13時30分

～

（内容）

## 墨田区の区立すみだ郷土文化資料館が 東京大空襲の絵を無料貸し出し

墨田区の区立すみだ郷土文化資料館がこれまでに保存されてきた東京大空襲の絵を学校や平和団体・非営利団体の資料展などに貸し出しています。

現在電話などでの予約を受け付け中です。

同資料館では273枚の絵を複製して100枚1セット

映像で考える70年

映像作家：鈴木賢司さんを迎えて

◇とき：4月5日（日）10時

～12時

現地へ行って考える山中坂

◇とき：4月5日（日）13時30分

～15時30分

立川空襲の概要

コーラス鳩の歌の演奏

「東京都平和祈念館（仮称）」建設をすすめる会は東京大空襲70年の3月10日（火）午前9時半～11時まで、墨田区両国の都立横網町公園で、宣伝署名行動をおこないます。ぜひご参加ください。

横網町公園で宣伝署名行動

## 東京都

1 記念式典の開催

(1) 日 時 3月10日（火）

午後1時～午後3時まで

(2) 会 場 東京都庁

第一本庁舎5階大会議場

(3) 参加者の募集は、2月7日  
で閉め切りました（土）

2 東京空襲資料展等の開催

(1) 東京空襲資料展

10日（火）

空襲関連資料・写真パネルの

展示・証言映像の放映等

ア 東京芸術劇場地下1階

アトリエウエスト

日 時：3月5日（木）

～10日（火）

イ 府中市生涯学習センター

1階アトリウム

日 時：2月27日（金）

～3月11日（水）

ウ 瑞穂町（3箇所巡回展示）

長岡コミュニティセンター

1階展示ギャラリー

日 時：2月26日（木）～

3月3日（火）

武蔵野コミュニティセンター

1階展示ギャラリー

日 時：3月5日（木）～

10日（火）

元狭山コミュニティセンター

1階展示ギャラリー

日 時：3月13日（金）～

18日（水）

(2) 東京空襲写真パネル展示  
空襲下の東京を写したパネル  
を展示します。◎東京都庁第一本庁舎1階中央  
部アートワーク台座

日 時：3月6日（金）～

10日（火）

電話

03-5619-7034

## あきる野原水協が4月 に開催準備

原水爆禁止あきる野協議会は、すみだ郷土文化資料館が貸し出し中の東京大空襲の絵を借用しての資料展を4月に開催する準備を現在すすめています。

【問合せ先】あきる野市油平  
49-8瀬沼辰正方

原水爆禁止あきる野協議会

0425-59-0354

にしたものを5セット作成し  
ています。

平和のための戦争展、平和展、平和集会などで大いに展示し、戦争の悲惨さを語り伝え、平和憲法を守って、内外に平和を発信していきましょう。

貸出料は無料です。

詳細は下記にお問い合わせください。

すみだ郷土文化資料館

担当：田中さん

〒131-0033

墨田区向島2丁目3-5